

エリスマン邸について

エリスマン邸は大正 15 (1926) 年、スイス人の生糸貿易商フリッツ・エリスマン氏の邸宅として建てられました。

木造建築の白く美しい洋館は近代建築の父、アントニン・レーモンドの設計。1 階応接室、ダイニング、サンルームには彼の設計した家具が復元展示され、2 階は横浜山手地区の資料館となっております。

建築当時は和館付（エリスマン氏の奥様は日本人です）で 81 坪の建物でしたが昭和 57 (1982) 年、マンション建築のため解体。平成 2 (1990) 年、元町公園内の現在地に再現されました。

煙突、ベランダ、屋根窓、上げ下げ窓、鎧戸といった異人館的要素をもちながら、軒の水平線の強調など、設計者レーモンドの師匠である世界的建築家 F.L.ライトの影響も見られます。



【アクセス】

横浜市中区元町 1-77-4

みなとみらい線「元町中華街駅」元町出口 6

アメリカ山公園経由 徒歩 6 分

昨年 (KICA フェスティバル 2014) の様子

昨年のインテリア展示のテーマは「Cool Japanese Style」。日本の自然の美しさや季節の移ろい、正月などの年中行事を大胆に表現しました。



インテリアコーディネーターの空間演出を今年もぜひお楽しみください。